



関西大学 法学研究所 第57回公開講座

# 持続可能社会における法と倫理 — 里山学からの発信 —



欧州では気候変動の「危機」「非常事態」が叫ばれ、人間による地球環境の決定的な改変が「人新世」という地質年代の新概念すら呼び起こしている。

里山学研究センターでは、あくまでも地域生態系にこだわりながら、環境問題の解決に寄与し、持続可能社会を求めの一環として里山的自然の探究と保全再生を追求してきた。哲学・倫理学の立場から日本での環境問題の経過を回顧し、里山的自然の意義について論じ、また、民法学の立場から森林経営管理法に焦点をあてながら、自然資源と法の関わりを論じる。



14:30~16:00

水俣病から里山学へ

— 「新入世」時代と里山の環境倫理学 —

丸山 徳次

(龍谷大学名誉教授・里山学研究センター研究フェロー)

16:10~17:40

自然資源と法

— 森林の経営・管理を中心として —

牛尾 洋也

(龍谷大学法学部教授・里山学研究センター長)

司会/

森田 崇雄

(関西大学政策創造学部准教授)

2020年

2月15日 土

14:30~17:40

関西大学 千里山キャンパス  
児島惟謙館1階 第1会議室

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL:06-6368-0329 FAX:06-6339-7721

E-mail:hogakuken@ml.kandai.jp

聴講無料・申込不要